

パーソナルファイナンス学会
2021年度会員総会 議事録

日時：2022年2月19日（土）16：00～16：20

会場：オンライン開催

出席者数：43名+委任状38通=81名

定足数（会員数の1/10）：14名

議長である坂野会長より、開催に先立ち、はがきでの委任状17通とWEBでの委任状26通と重複する5通を除いて38通であることと、オンライン会場の入室者とあわせて定足数を満たしていることが確認された。

報告事項

1. 各委員会・部会活動

1) 編集委員会

資料に基づき、No.7を2021年3月にHP公開、10月にJ-Stageに公開されたと
現在はNo.8を公開に向けて、最終校正中であることが報告された。

2) 国際交流・広報委員会

資料に基づき、ニューズレターの発行状況が報告された。

3) 総務・財務委員会

資料に基づき、2月28日時点での会費納入状況が報告された。

4) 研究・出版助成委員会

資料に基づき、2件の申請があり各々10万円が給付したことが報告された。

5) 学会賞委員会

今年度の受賞者はなかったとの報告がなされた。

6) 大会委員会

本日、開催されたことと次年度については審議事項で諮ることが述べられた。

7) 各部会報告

新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では開催されていないとの報告がなされた。前回の理事会でもお伝えしたが、今期の予算があるので、今期末までに企画の際にはお申し出いただきたいとの補足がなされた。

2. 2021 年度（第 22 期）仮決算報告

本学会の会計年度は 4 月から 3 月までであるため、資料の会計資料は仮決算となることが前置きされた。期中であるが、主な支出や予算と異なる点について、Web ジャーナルはこれから支出が予定されていること、郵送選挙を実施したための選挙関連費などについて説明がなされた。

3. 理事改選・投票結果報告

選挙管理委員の岸本理事より、従来選挙は全国大会時に対面にて実施されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送方式にて実施したとの報告がなされた。資料に基づき、投票期間や総投票数と当選者名が報告された。会則 9 条により、当選理事は上位 20 名と定められているが、5 名が 20 位に同数当選となったため、本来は抽選で確定するが、今回に限り、異議がなければ抽選せずに 5 名全員を当選としたいと提案がなされた。

坂野会長より、会則の 9 条によると理事は 20 名を会員の中から会員選出し、さらに 15 名以内をすでに選任された理事が会員の中から選任するとなっているとの補足説明がなされた。年度末までに新理事会を開催し、その際に 15 名以内を推薦することになっていることから、5 名から 1 名を抽選で選出するのではなく最後の 5 名も当選理事とさせていただきますという提案であるとの説明がなされた。

また、今後の予定として 3 月中旬までに理事就任の意思確認を行ったうえで、新理事を招集し、会長選と推薦理事の調整を行うことが述べられた。

岸本理事より、選挙結果は報告事項であるが、当選者数については、諮らせていただいたが、異議や意見がないか求められたが、特になく承認された。

審議事項

1. 2022 年度第 22 回全国大会について

坂野会長より、昨年度は開催できず、今大会もリアル開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、オンライン開催となったとの経緯が述べられた。新年度の大会開催については、この社会情勢下では新年度もオンライン開催となる可能性があるが、最終的には新理事会で決定したいとのことと、開催校として候補校があればよいが、ない場合には再度、早稲田大学が開催校となることが提案され、承認された。

2. 2022 年度第 23 期予算について

坂野会長より資料に基づき、2022 年度予算について説明がなされた。大会準備金については、リアル開催された場合でも懇親会の開催は難しいため、30 万円としていることが説明された。ほか、例年を踏襲していることが説明され、2022 年度予算は承認された。

3. 入会・退会について

坂野会長より、資料に基づき 3 名の入会と 4 名の退会が報告された。

坂野会長より、年度末近い時期に開催された今大会にご参加いただいた御礼が述べられ、今後の活動方針として、with コロナとして割り切って、with コロナの中でできる限りのことをしていく、とのことが述べられ、再度、参加の御礼が述べられ閉会となった。

(文責 リエゾンオフィス)